

BD 滅菌綿棒 CF (チューブ入り)

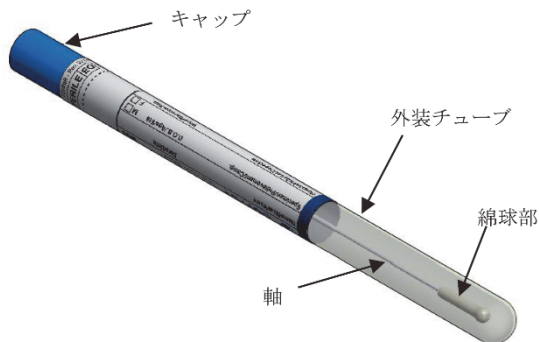
再使用禁止

【禁忌・禁止】

- ・再使用禁止

【形状・構造及び原理等】

本品は、臨床検体の採取のための器具である。プラスチック製キャップに取り付けられたプラスチック製軸の先端にナイロン製の綿球部が付いた検体採取用の綿棒であり、チューブ状のプラスチック容器(外装チューブ)で滅菌包装されている。



寸法

綿棒全長 (青色キャップ含む) : 168mm

外装全長 : 175mm

【使用目的又は効果】

検査のための試料を採取する器具

【使用方法等】

1. 本品のキャップ部分をつまみ、外装チューブから綿棒を取り出す
2. 検体を採取する部分に綿球部を当て、本品を数回回転させた後、そのまま数秒置いて検体を採取する。
3. 綿棒を輸送する場合は、綿棒を外装チューブに戻し、キャップをしっかりと閉める。
4. 必要に応じて、外装チューブのラベルに情報を記入する。

【使用上の注意】

〈重要な基本的注意〉

- 1) 開封後は速やかに検体採取を行い、使用後は感染防止に留意して安全な方法で廃棄すること。
- 2) 検体を採取する前に軸部分を折り曲げたり、湾曲させて使用しないこと。
- 3) 検体採取時に軸部分に力がかかり過ぎたり、強く押す等の負荷をかけて軸部を折らないように注意すること。
- 4) 使用中に破損した場合は、速やかに使用を中止し、新しいものを使用すること。
- 5) 検体を採取する時、採取する粘膜などの部位を傷つけないよう無理な力をかけないこと。

- 6) 綿棒を外装チューブに戻す際には、検体が飛散しないように、また外装チューブの表面を汚染しないように注意すること。
- 7) 凍結や加熱をしないこと。
- 8) 全操作においてスタンダードプリコーション (標準予防策) に従い、適切な防護具 (防護服、マスク、ゴーグル、手袋等) を着用すること。併せて、各検査室のガイドラインにも従うこと。

【保管方法及び有効期間等】

〈保管方法〉

2～30℃にて直射日光、多湿、凍結を避け、濡れに注意して保管すること。

〈使用期間〉

使用期限は外箱及び個包装に記載されている。

*【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：

日本バクトン・ディッキンソン株式会社

TEL：0120-8555-90 (カスタマーサービス)

外国製造業者：

コパン イタリア エスピーエー

(Copan Italia S. p. A.)

国名：イタリア共和国